

博士論文審査結果報告書

2022 年 8 月 23 日

論文提出者	論文審査担当者
専攻領域 リハビリテーション科学領域	審査委員(主査) 岩井 信彦
専攻分野 神経・運動機能リハビリテーション学分野	審査委員(副査) 西尾 久英
氏名 浅井 康紀	審査委員(副査) 藤原 瑞穂
論文題目 造血幹細胞移植患者の生活行為の経時的変化と精神機能との関係性	
<p>審査結果</p> <p>本論文は、造血幹細胞移植患者 32 名を同種移植者 19 名と自家移植者 13 名の 2 群に分け、移植前処置開始時、退院後 4 週、12 週、24 週時点の 4 つの時点に関し ADL は FIM (Functional Independence Measure), IADL は FAI (Frenchay Activities Index), 不安抑うつは HADS (Hospitality Anxiety and Depression Scale), 倦怠感 CFS (Cancer Fatigue Scale) を用いて調査・比較し、生活行為の経時的変化と精神機能との関係に言及している。</p> <p>退院後の IADL は同種・自家移植患者ともに退院後 4 週で低下していた。また、自家移植患者では移植前の FAI と HADS において有意な負の相関が認められ、同種移植では退院後の各時期と移植前の変化量の関係で FAI と HADS, CFS において有意な負の相関が認められた。これらのことから、造血幹細胞移植患者への作業療法の関与の必要性和具体案を示している。</p> <p>今まで明らかにされていなかった造血幹細胞移植患者に対する退院後の ADL, IADL 及び精神機能の関係を明らかにし、作業療法の介入方法を提示した本論文は、解析方法も妥当性があり、作業療法の新たな分野を提示した点で新規性がある。よって本論文は博士論文として適当な論文であり、論文提出者は博士の学位を得る資格があるものと認める。</p>	
審査委員(主査) 署名 岩井 信彦 	